

エラーチェックの 直しかた



(カルテ編)



エラーチェックはあくまでも「お手伝い」ですので、
最終的なご判断は先生にお願いいたします。

病名関連.....	5
1. XXX の算定に必要な病名がありません。.....	5
2. XXX の前に修飾語病名がありません。.....	5
3. 疑い病名での治療の算定があります。ご確認ください.....	5
4. 同月内で、XX(病名)と〇〇(病名)が同じ部位についています。.....	6
5. レセプトの P 病名の歯数と歯周検査の歯数が一致しません。.....	6
6. 移行病名は 1 つまでしか使用できません。レセプトをご確認ください。 移行病名(矢印)の前後に同じ病名があります。「C→C→Pul」.....	7
7. 同一歯に歯内療法を行って、以前に充形または修形が行われています。 (RXX.XX.XX に充形または修形が行われています).....	7
歯周治療関連.....	8
8. SC 後の歯周検査(2 回目の歯周検査)を行わずに形成を行っていますが よろしいですか？ SRP または再 SC 後の歯周検査(3 回目の歯周検査)を行わずに形成を 行っていますがよろしいですか？.....	8
9. C、Pul 病名で治療等を行った歯が、P の部位に含まれていません。.....	8
10. G 病名でパノラマを算定しています。 パノラマの撮影理由の摘要コメントが必要です。.....	8
11. G 病名で、永久歯と乳歯が重なっている歯番があります。抜けた乳歯は欠損 登録をお願いします。.....	9
12. G 病名の中に晩期残存の病名が含まれています。G 病名から当該部位を 削除してください。.....	10
13. Perico(P 急発)と P 処または投薬があり、同日に歯周検査があります。.....	10
14. P 混検を算定して、乳歯がありません。.....	10
15. 1 初診内に P 混検と基本検査が混在しています。.....	10

16. 歯周基本治療(SC・SRP など)と歯周基本治療の間に歯周組織検査がありません。 スケーリングと SRP の間に、歯周検査がありません。 全ブロックのスケーリング終了と同日に、歯周検査を行いました。 SRP 終了と同日に、歯周検査を行いました。.....	10
17. スケーリング(100/100)とスケーリング(50/100)が同日にあります。.....	12
18. スケーリング(100/100)がなく、スケーリング(50/100)があります.....	12
19. スケーリングで、入力した部位と回数に食い違いがあります。.....	12
20. スケーリングの算定があり、過去に歯周検査の算定がありません。 スケーリングを行った歯に、歯周検査の算定がありません。.....	13
21. スケーリングの終了から 1 週間以内に歯周検査があります。.....	13
22. スケーリングがなく、2 回以上の歯周組織検査が行われました。.....	13
23. 全ブロックのスケーリングが終了しないのに、歯周組織検査が行われました。.....	13
24. スケーリングと SRP の間に、歯周検査がありません。.....	13
25. 歯周検査がなく、SRP の治療があります。 2 回目の歯周検査がなく、SRP の治療があります。.....	14
26. SRP の 1 回目を 3 回目の歯周検査以降に行いました。.....	14
27. SRP の終了から 2 週間以内に歯周検査があります。.....	14
28. SRP(100/100)と SRP(50/100)が歯周検査を挟まずに混在しています。.....	14
29. SPT1 回目を算定していますが、SRP 終了後に評価の P 検査がありません。	14
30. SPT1 回目を算定していますが、過去に SRP がありません。.....	14
31. 以前 SPT を算定してから、6 ヶ月以内に初診を算定しました。.....	15
32. 以前に SPT の算定がなく、P 重防(治療期間の短縮)を算定しました。.....	15
33. 前回の P 重防または SPT の算定の翌月の初日から 2 月が経過せずに P 重防を算定しています。算定期間をご確認ください。.....	15
34. スケーリング後に歯周検査の入力がなく、歯周病重症化予防治療が入力 されています。.....	15
35. 歯周安定期/歯周病重症化予防治療中に、歯周基本治療等の処置があります。..	15
36. 機械的歯面清掃処置を行い、1 初診内に歯科疾患管理、歯科疾患在宅療養管理 又は特疾管、居宅療養管理指導費の算定がありません。 機械的歯面清掃処置より以前に歯科疾患管理・歯科疾患在宅療養管理又特疾管 (歯清を行うにあたる管理計画がある場合)・居宅療養管理指導費の算定がありま せん。.....	16
37. 機械的歯面清掃処置を行い、同月に歯科疾患管理、歯科疾患在宅療養管理又は 特疾管、居宅療養管理指導費の算定がありません。.....	16
歯牙治療関連	18
38. XXX に、“面”のコメントがありません。ご確認ください。.....	18
39. ○○が根管数と一致していません。.....	18
40. ○○があり以前に XX がありません。ご確認ください。.....	19
41. 直接歯髄保護処置を行ってから、1 ヶ月以内に歯冠修復物等が行われて います。.....	19
42. 感染根管処置を行いましたが、以前に抜髄後の根充がありませんが よろしいですか？	19
43. 貼薬または根充があり、抜髄(感染根管)がありません。.....	19
44. 根管治療がなく、Pul・Per の病名があります。.....	19
45. 加圧根充を行って、根充(または抜髄即充・感根即充)がありません。.....	20
46. 加圧根充を行って、確認用の X 線がありません。.....	20
47. 1 初診内で根管治療後に、修形または充形があります。.....	20
48. 難抜歯を行う前に、デンタルでの確認を行いましたか？ 埋伏抜歯を行う前に、パノラマまたはデンタルでの確認を行いましたか？	20
49. 抜歯 下顎埋伏智歯加算 の算定に必要な病名がありません。 下顎埋伏智歯加算を行って、病名に「下顎」が必要です。.....	21

50. 埋伏歯抜歯があり、完全埋伏歯、骨性完全埋伏歯、水平埋伏智歯、 下顎水平埋伏智歯、下顎骨性完全埋伏智歯の病名が必要です。.....	21
51. 即充を行って、EMR を行っていません。ご確認ください。 根充を行って、EMR を行っていません。ご確認ください。.....	21
52. 根管貼薬処置 3 根(RCT)(RX.XX.XX) "根管貼薬処置 3 根(RCT)(RX.XX.XX) " "EMR 3 根(RX.XX.XX)" が根管数と一致していません。.....	21
53. 除去(困難)を行って、「～不適合」「～破損」の病名が必要です。 除去(著しく困難)を行って、「メタルコア不適合」「ポスト不適合」「コア破損」の病名 が必要です。.....	21
54. 内面処理加算を算定して、セメント(レジン系)がありません。.....	21
55. セメントがあり、歯冠修復物・TFix・再装着・再装着(0 点)・再装着 (摘要コメント)などがありません。.....	22
56. ブリッジ維持管理料がありますが、歯冠修復物がありません。.....	22
57. Br 装着料があり、ボンティックの算定がありません。.....	22
58. コア imp または形成を行って、根充が行われていません。.....	22
59. ○○は手動で入力しています。.....	22
義歯関連.....	23
60. 有床義歯と義歯印象があり、試適がありません。.....	23
61. 歯科口腔リハビリテーションIを行って、義歯不適合の病名がありません。.....	23
62. 即時義歯があります。残根登録をしていないことにより即時義歯となって いないか、ご確認ください。.....	23
63. 義管(困難な場合)または歯リハI(困難な場合)が算定できるのでは ないでしょうか?	23
64. 有床義歯を作成してから、6 ヶ月以内に裏装 imp が行われました。 床裏装が 50/100 の予定です。.....	23
65. 単純imp(簡単) の処置は、MT(リソウ) 義歯増歯 義歯破損 義歯咬合面低位 義歯不適合 義歯床不適 義歯ハセツ MT床適合 の病名と一緒に 算定できません。.....	23
66. ○○に部位がありません。.....	23
X 線(レントゲン)関連.....	24
67. X 線(単デジ)があり、同日にパノラマ(電)、全顎(電)、歯 CT 等がありません。...	24
68. X 線(症状確認)を撮影して、以前にパノラマまたは X 線(診査時)を 撮影していません。X 線(診査時)用の点数ではないですか?	24
69. 歯科用 3 次元エックス線断層撮影を行い、以前にパノラマまたは デンタルがありません。.....	24
麻酔関連.....	25
70. OA(同一顎)+○○注歯科用 Ct 1.8ml×本数に、"麻酔薬剤使用本数"のコメントが ありません。ご確認ください。.....	25
71. OA+薬剤が複数算定されています。ご確認ください。OA の算定回数をご確認く ださい。OA(同一顎)又は OA(上下顎)	26
72. 処置又は手術を行い、麻酔薬剤の算定がありません。よろしいですか。.....	27
73. OA があり、伝麻または浸麻がありません。 浸麻または伝麻があり、OA がありません。.....	28
投薬関連.....	29
74. 外科処置を行って、投薬が処方されていません。.....	29
75. 投薬を行って、処方料または処方箋がありません。.....	29
76. 内・屯服薬を処方して、調剤料(内・屯)がありません。 外用薬を処方して、調剤料(外)がありません。.....	29
77. 調剤料(内服・屯服)を算定して、投薬がありません。 調剤料(外用)を算定して、投薬がありません。.....	29

指導管理料関連.....	30
78. 歯科疾患管理があり、初診があります。ご確認ください。.....	30
79. 歯科疾患管理があり、長期管理加算の算定がありません。ご確認ください。.....	30
80. 歯科疾患管理を行って『P 病名』『G 病名』があり、歯周検査が行われて いません。.....	30
81. 歯科衛生実地指導を行った時間が 15 分未満です。 歯科衛生実地指導を行った時間が 61 分以上で入力されました。 歯科衛生実地指導を行った正しい時間が入力されていません。.....	30
82. 初診月で歯周検査より以前に歯科疾患管理があります。ご確認ください。.....	31
83. 初診月で歯科疾患管理があり、脱離病名のみです。ご確認ください。 歯科疾患管理があり、欠損病名のみです。ご確認ください。.....	31
84. 初診より 6 月が経過していないので、長期管理加算は算定できません。.....	31
85. C 管理中の病名があります。う蝕多発傾向者の判定基準をご確認ください。.....	31
86. 周術期等口腔機能管理料(周管)があり、周術期口腔機能管理計画策定料(周計)の 算定がありません。依頼元の病院歯科か、依頼を受けた医療機関のいずれかで周 計がないと周管は算定できません。.....	31
87. ○○が行える時期です。.....	31
基本診療料関連.....	33
88. 基本診療料と保険外が同日にあります。ご確認ください。.....	33
89. 医療情報取得加算(初診)が算定可能です。ご確認ください。 医療情報取得加算(再診)が算定可能です。ご確認ください。.....	33
90. 明細書発行体制加算の算定がありません。ご確認ください。.....	33
91. 歯外ベア(I)の算定が可能です。.....	33
92. 前回の 1 初診内に歯科疾患管理があり、最終来院日から 2 ヶ月以内に 初診の算定があります。初診を算定した理由の記載が必要です。.....	33
93. 前回の最終来院日から 1 ヶ月以内に、初診または検診の算定があります。.....	33
94. 未来院に、"年月"のコメントがありません。ご確認ください。 未来院請求で、装着予定日または試適予定日がありません。.....	33
部位の入力関連.....	34
95. 部位が入力されていません。.....	34
96. 部位の状態に対して病名『○○』は適正ではありません。.....	34
その他.....	36
97. 診療点数が異なります。(カルテ ××点 レセプト ××点)	36
98. 保険診療開始日が見つかりません。初診を算定するか又は、 [患者診療オプション]で保険診療開始日の登録を行ってください。.....	36
99. 文字データの記録が必要なコメントコードですが、文字データが記録されて いません。(830100387)	38

病名関連

1. XXX の算定に必要な病名がありません。

!	"う蝕歯即時充填形成" の算定に必要な病名がありません。" C , C1 , C2 , C2単 P u l , C3処置歯 , C3 " , W S D
!	" i m p (口腔内装置) " の算定に必要な病名がありません。" P , P1 , P2 , P3 , 抜歯後出血
!	"補綴時診断料(床裏装の場合)" の算定に必要な病名がありません。" M T (リソウ) , M T床適
!	"連合 i m p (裏装) " の算定に必要な病名がありません。" M T (リソウ) , 義歯咬合面低位 ,
!	" S R P 小臼歯 " の算定に必要な病名がありません。" P , P1 , P2 , P3 "
!	"歯科口腔リハビリテーション料1" の算定に必要な病名がありません。" M T , M T (リソウ) , 義歯増歯 , 義歯破損 , 義歯咬合
!	"スケーリング 加算" の算定に必要な病名がありません。" P , P1 , P2 , P3 , G , 単 G , 増 G , 潰 G , 壊 G , 肥 G , 複 G "
!	"スケーリング" の算定に必要な病名がありません。" P , P1 , P2 , P3 , G , 単 G , 増 G , 潰 G , 壊 G , 肥 G , 複 G "
!	"歯周基本検査 (20歯以上) " の算定に必要な病名がありません。" P , P1 , P2 , P3 , G , 単 G , 増 G , 潰 G , 壊 G , 肥 G ,
!	機械的歯面清掃処置を行って、『C』『P u l』『P e r』『P』『G』『Ce』 などの病名がありません。
!	歯科衛生実地指導料を行って、『C』『P u l』『P e r』『P』『G』『Ce』 などの病名がありません。
!	当月、有効な病名がありません。ご確認ください。
!	有効な病名がありません。

- (1) 病名のつけ忘れの場合は病名の入力をお願いします。
- (2) 一般的に処置に対して必要とされている病名がない場合にかかるエラーです。
病名については先生のご判断となりますので、問題ない場合は修正不要としていただいて問題ありません。
- (3) 「当月、有効な病名がありません」が表示された場合は、今月のレセプトに病名が何もない状態ですので、レセプトが通りません。病名をつけていただくようお願いします。

2. XXX の前に修飾語病名がありません。

! "顎関節症"の前に修飾語病名がありません。"右側, 左側, 両側"

修飾語がないことで返戻になったことがある病名に対してエラーをかけています。
顎関節症については「右側顎関節症」「左側顎関節症」「両側顎関節症」の修飾語付きの病名があります。

3. 疑い病名での治療の算定があります。ご確認ください

疑い病名では処置の算定はできません。
診断が確定し、治療が開始されたタイミングで「疑い」は削除してください。

4. 同月内で、XX(病名)と〇〇(病名)が同じ部位についています。ご確認ください

- | |
|---|
| ⚠ 同月内で、C1とCeが同じ部位についています。ご確認ください。 |
| ⚠ 同月内で、C3慢化PerとPerが同じ部位についています。ご確認ください。 |

- (1) 同一歯にC1、C2で「う蝕処置」、Ceで「エナメル質初期う蝕管理料」という場合は修正不要で問題ありません。
- (2) 「P1」と「P2」、「C3●●Per」と「Per」、「C3●●Pul」と「Pul」など、同じ種類の病名でエラーが出ている場合は、治療の開始時に病名をつけ、その後の処置時に異なる病名がつけられています。レセプト上は「P」「Pul」「Per」になるため問題ありませんが、カルテはポケットの深さに応じた「P1」「P2」「P3」、「C3●●Per」「C3●●Pul」に統一していただいた方が良いです。
- (3) 「C」でう蝕処置、その後に「Pul」や「Per」病名をつけて抜髄した場合など、「主病名」に該当する病名を2個つけた場合、後からつけた病名しかレセプトに表示されません。同一初診内で途中で病名が変わる場合は、病名が変わるタイミングで新しい病名の前に「→(移行病名)」をつけてください。CからPulに変わる場合、Pul病名は「→Pul」という入力になります。レセプトは「C→Pul」という記載になります。

主病名に該当する主な病名は

C(C1、C2、C2 単Pul、C3)、C3 処置歯、根 C
Pul(C3 急化Pul、C3 潰Pul、C3 増Pul、C3 壊Pul、C0 急化Pul)
Per(C3 急化Per、C3 慢化Per、C3 急単Per)
MT、MT(リソウ)、義歯増歯、義歯破損、義歯ハセツ、義歯不適合、Dul

- (4) 「C」をつけてう蝕処置を行った後、「咬合性外傷」の病名をつけるなど、「主病名」に該当する病名2つを併記したい場合は、「C+咬合性外傷」と、2つの病名を+で繋いでつけてください。レセプトに「C、咬合性外傷」と表示されるようになります。
- (5) 旧義歯に対して修理や調整を行い、同時に同じ部位の義歯を新製する場合もこのエラーが出ます。旧義歯に対して「義歯不適合」「義歯破損」で歯リハ1や修理を行い、同じ部位に「MT」病名で義歯impなどの入力の場合は問題ありません。
- (6) 「同月内でMT*増歯部位用*と義歯増歯が同じ部位についています」増歯時の正しい病名のつけ方になっていません。義歯増歯の場合の正しい入力は以下の通りです。

- ①増歯後の義歯の部位(旧義歯+増歯部)のブロックに「義歯増歯」の病名をつけます。
- ②増歯する部位だけのブロックに「MT*増歯部医用*」の病名をつけます。

5. レセプトのP病名の歯数と歯周検査の歯数が一致しません。ご確認ください。

- (1) 歯周検査が入力されているブロックの部位が上顎のみ、下顎のみなど、1口腔になっていない可能性があります。ご確認ください。
- (2) 歯周検査時に当月抜歯した部位が含まれており、抜歯を行った結果、検査の歯数が足りなくなっている可能性があります。「検査後抜歯」の摘要記載を行っていない場合は、歯数に応じた点数の検査を入力しなおしてください。

6. 移行病名は1つまでしか使用できません。
レセプトをご確認ください。移行病名(矢印)の前後に同じ病名があります。「C→C→Pul」

!	移行病名は1つまでしか使用できません。
!	レセプトをご確認ください。移行病名（矢印）の前後に同じ病名があります。「C→C→P u l」

電算レセプトでは移行病名(→)は1つしかつけられません。

同じ部位に対して「→」がついた病名がいくつも入力されている場合、例えば、う蝕処置で「C」をつけ、抜髄時に「C→Pul」、貼薬時にも「C→Pul」というような病名のつけ方をするとこのエラーが出ます。

以下のように診断名が変わるタイミングで「→(新しい病名)」というように病名をつけてください。

R7.9.3	6	歯科初診	267 × 1
		浸麻	30 × 1
C2		OA(同一顎)+エビドリ配合注歯科用Ct 1.8ml (1.8ml)	9 × 1
		う蝕処置 保険医療材料名：水酸化カルシウム	18 × 1
			240
R7.9.10	6		58 × 1
(C2 → C3急化P u l			0 × 1
		8ml	9 × 1
		抜髄 3根 (水酸化カルシウム+キャピトン)	600 × 1
		EMR 3根 (MB25mm#15,DB25mm#15,P25mm#15)	60 × 1
		保険 727点 ¥7,270	

病名が変わるタイミングで
「→新しい病名」をつけてください
(この場合は C3 急化 Pul)

7. 同一歯に歯内療法を行って、以前に充填または修形が行われています。(RXX.XX.XXに充填または修形が行われています) 修形、充填から抜髄、感根処までの期間が短い場合は移行病名(→)が必要です。

同一初診内にかかるエラーですが、修形、充填から抜髄、感根処までの期間がある程度あいている場合は、修正不要としていただいて問題ありません。

短期間の場合は移行病名をつけてください。

歯周治療関連

8. SC 後の歯周検査(2 回目の歯周検査)を行わずに形成を行っていますがよろしいですか？(歯周治療のガイドラインでは歯周検査により歯周組織の安定を確認してからの補綴を推奨しています)

SRP または再 SC 後の歯周検査(3 回目の歯周検査)を行わずに形成を行っていますがよろしいですか？(歯周治療のガイドラインでは歯周検査により歯周組織の安定を確認してからの補綴を推奨しています)

歯周病学会のガイドラインに基づき、歯周基本治療後に検査が行われていない場合にエラーをかけています。

歯周検査の必要性については、先生でご判断ください。

歯周検査を不要と判断される場合は、修正不要にしてください。

9. C、Pul 病名で治療等を行った歯が、P の部位に含まれていません。P 病名の入力部位をご確認ください。他社レセコンから入れ替えの場合は、一口腔で P 病名をつけているかご確認ください。

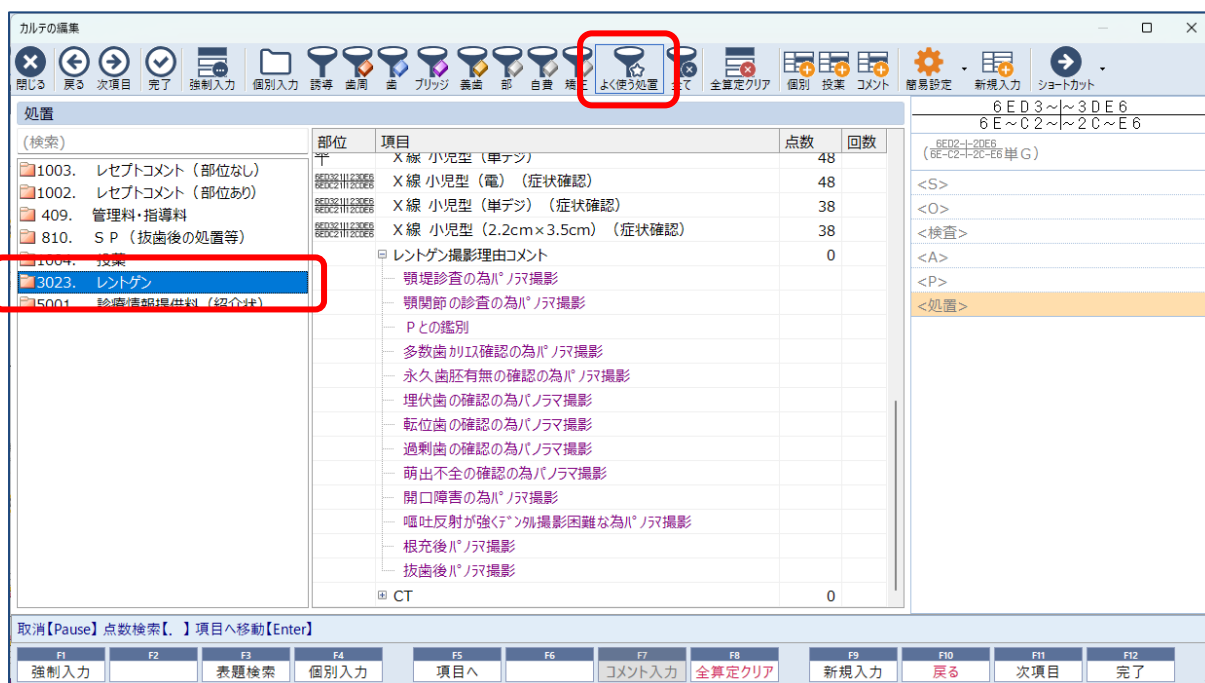
- (1) 他社レセコンからの入れ替えで、一口腔で P 病名がつけられていない場合にかかります。
- (2) 8 番など、もともと P に含めていなかった部位に治療を行った場合にかかります。治療を開始した段階で P に含めてください。

10. G 病名でパノラマを算定しています。パノラマの撮影理由の摘要コメントが必要です。

子供のパノラマの算定には理由が必要です。

<検査> をクリックすると「レントゲン撮影理由コメント」がありますので、その中から理由を入力してください。

部位	項目	点数	回数
	病態模式図		
	コンピューター映像		
	レントゲン撮影理由コメント	0	
	顎堤診査の為のレントゲン撮影		
	顎関節の診査の為のレントゲン撮影		
	P との鑑別		
	多数歯が確認の為のレントゲン撮影		
	永久歯胚の有無の確認の為のレントゲン撮影		
	埋伏歯の確認の為のレントゲン撮影		
	転位歯の確認の為のレントゲン撮影		
	過剰歯の確認の為のレントゲン撮影		
	萌出不全の確認の為のレントゲン撮影		
	開口障害の為のレントゲン撮影		
	嚥下反射が強くレントゲン撮影困難の為のレントゲン撮影		
	根充後レントゲン撮影		
	抜歯後レントゲン撮影		
	パノラマ断層撮影 (電)	402	



11. G 病名で、永久歯と乳歯が重なっている歯番があります。抜けた乳歯は欠損登録をお願いします。

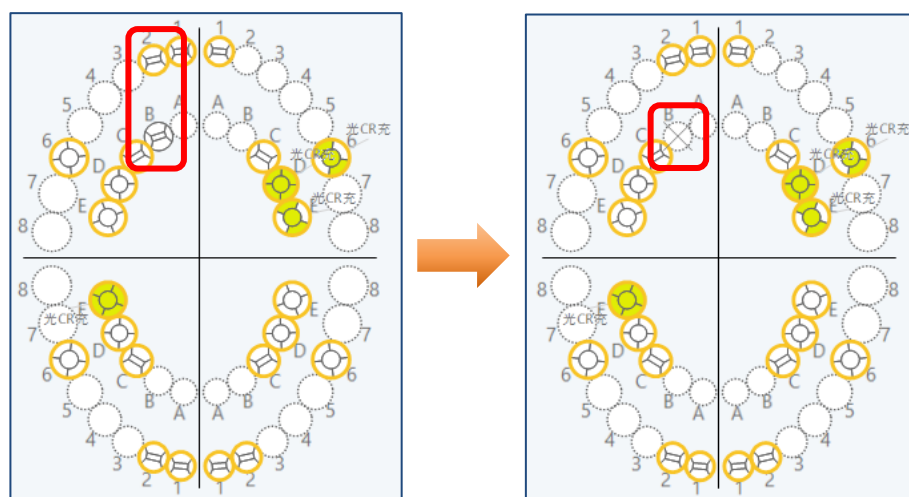
後続永久歯を G に含め、抜けた乳歯を G の部位から除いたが、乳歯が欠損にされていないためにレセプトの部位に含まれてしまっている状態です。

ご注意:

後続永久歯が部位に入っていると乳歯が部位から抜け落ちるような仕様にはなっていません。抜けた乳歯は必ず欠損登録を行ってください。

下図のように、後続永久歯(2番)をノーマルに登録しても、乳歯(B)を欠損にしていない場合「一口腔」ボタンで乳歯も選択されてしまいます。

また、下図のように部位への入力時にBを除いて部位登録を行っても、以前に部位に含まれ G 病名をつけていた場合は、レセプトでは乳歯(B)が含まれたままになるため、乳歯に限らず抜けて存在していない歯は必ず欠損登録を行ってください。



12. G 病名の中に晩期残存の病名が含まれています。G 病名から当該部位を削除してください。

「晩期残存」で抜歯した部位が G に含まれているので、その部位を除いてください。

13. Perico(P 急発)と P 処または投薬があり、同日に歯周検査があります。ご確認ください。

P 急発で投薬等と同日に歯周検査を行って返戻されたケースがあったため、エラーをかけております。先生のご判断で修正不要としていただいても問題ございません。

14. P 混検を算定して、乳歯がありません。ご確認ください。

混合歯列期歯周病検査が入力されているブロックの部位が永久歯のみです。
部位が間違っていないか、ご確認ください。
永久歯のみであれば、G 病名でも歯周基本検査の算定は可能です。

15. 1 初診内に P 混検と基本検査が混在しています。ご確認ください。

基本検査を算定した後に P 混検を算定しているとかかるエラーです。
リプレースの場合、以前のレセコンでは異なる検査を算定していませんか？ご確認ください。

16. 歯周基本治療(SC・SRP など)と歯周基本治療の間に歯周組織検査がありません。以前に基本治療を行った部位を重複して選択していないかご確認ください。歯周検査よりも SC 等の歯周基本治療が上に入力されている場合は、SC、SRP を検査の下に移動させてください。

スケーリングと SRP の間に、歯周検査がありません。ご確認ください。

全ブロックのスケーリング終了と同日に、歯周検査を行いました。数日後に検査する事をお勧めします。

SRP 終了と同日に、歯周検査を行いました。数日後に検査する事をお勧めします。

- (1) 歯周検査の入力を忘れていませんか？
- (2) 以前にスケーリングや SRP を行った部位を重複して選択していませんか？
スケーリングの部位が間違っていないか、ご確認ください。
- (3) 1 回目の検査の後に SC を行わず、2 回目の検査と同時に SC を算定している場合にもかかります。入力に問題がないかご確認ください。
- (4) 処置が入力されている順番もチェックに影響します。
カルテ記載は処置を行った順番で記載することになっており、同日に検査と SRP は行われていますが、SRP のほうが先に入力されているため「SC の後に検査なく SRP を行っている」と判断されます。
検査後に SRP を行った場合は先に検査を入力し、そのあとに SRP を入力して下さい。

同じブロックに入れてしまっている場合

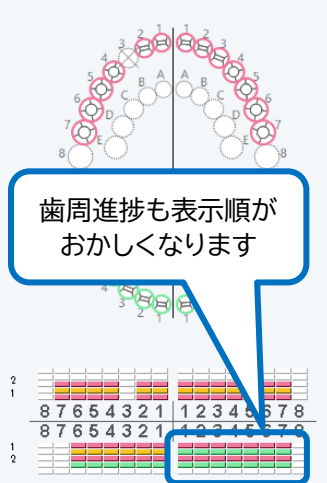
R7.7.4	歯科再診	58 × 1
	明細書発行体制等加算	1 × 1
	歯科外来診療医療安全対策加算1 (再診)	2 × 1
	歯科外来診療感染対策加算1 (再診)	2 × 1
	歯科外来・在宅ベースアップ評価料 (1) (再診時等)	2 × 1
7 ~ 7	SRP 小臼歯 (J)	64 × 2
7 ~ 7	SRP 大臼歯 (J)	72 × 2
P1	歯周基本検査 (20歯以上)	200 × 1
	歯科疾患管理	100 × 1
	機械的歯面清掃処置 担当者名: 鈴木 日向	72 × 1
	歯科衛生実地指導 衛生士名: 鈴木 日向	80 × 1
	保険 789点 ¥2,370	

「歯周基本検査(20 歯以上)」を右クリックして「処置を上へ移動」を選択し、SRP より上に移動させます。
[Shift] キーを押しながらドラッグしても移動できます。

一口腔の部位に一部の SRP が入力されていても、入力としては誤りではありませんが、一口腔で検査、SRP の部位で SRP の入力とした方が、簡単に入力出来ます。

7 ~ 7	歯周基本検査 (20歯以上)	200 × 1
7 ~ 7	歯科疾患管理	100 × 1
P1	機械的歯面清掃処置 担当者名: 鈴木 日向 実 (PMTCジェル)	72 × 1
	歯科衛生実地指導 衛生士名: 鈴木 日向	80 × 1
7 ~ 4	SRP 小臼歯 (J)	64 × 2
(P1)	SRP 大臼歯 (J)	72 × 2
	次回予定:	

処置と検査の順番が逆になってしまっている場合



歯周進捗も表示順がおかしくなります

最終検査日(基本検査): R7.7.9(2回目)

R7.7.9	歯科再診	
	明細書発行体制等加算	
	歯科外来診療医療安全対策加算1 (再診)	
	歯科外来診療感染対策加算1 (再診)	
	医療情報取得加算 (再診)	
	歯科外来・在宅ベースアップ評価料 (1) (再診時等)	
7 ~ 4 2 ~ 7	歯科疾患管理	
6 ~ 7	機械的歯面清掃処置 担当者名: 鈴木 日向	
P1	歯科衛生実地指導 衛生士名: 鈴木 日向	
	インレー12%金バラ大【複雑】	
<病名>	装着	
	セメント(接着材料I) (レジック標準型) (SAルーティング プラス)	
1 ~ 7	SRP 前歯 (J)	
P1	SRP 小臼歯 (J)	
	SRP 大臼歯 (J)	
7 ~ 4 2 ~ 7	歯周基本検査 (20歯以上)	
6 ~ 7		
(P1)		
	次回予定:	

右クリックでブロックを入れ替えてください

17. スケーリング(100/100)とスケーリング(50/100)が同日にあります。以前にスケーリングを行った部位を重複して選択していませんか？スケーリングの入力部位が間違っていないか、ご確認ください。

以前にスケーリングを行った部位を重複して選択していませんか？

スケーリングの部位が間違っていないか、ご確認ください。

「スケーリング(50/100)」が入力されている部位が以前にスケーリングが行われている部位です。

18. スケーリング(100/100)がなく、スケーリング(50/100)があります。スケーリングの点数を間違えていませんか？また、1回目のSC時に萌出していなかった部位(智歯や後続永久歯など)を含んで50/100のSCが入力されている場合、1回目のSCが全顎のブロックで請求されていれば問題ありません。

- (1) 間違えて50/100の点数のスケーリングを入力していませんか？
- (2) 2回目のSC入力時に、1回目のSC時に萌出していなかった部位(智歯や後続永久歯など)を含んで50/100のSCを入力するとこのエラーが表示されます。1回目のSCが全顎の6ブロックで請求されている場合は問題ありませんので「修正不要」としてください。

19. スケーリングで、入力した部位と回数に食い違いがあります。以前にスケーリングを行った部位を重複して選択していませんか？スケーリングの入力部位が間違っていないか、ご確認ください。

- (1) 以前にスケーリングを行った部位を重複して選択していませんか？スケーリングの部位が間違っていないか、ご確認ください。
- (2) 1口腔の部位に検査を入力し、同じブロックに部位の一部だけに対して歯周基本治療処置が入力されている場合にかかります。処置部位が異なる場合は別ブロックに入力してください。

P1	7 ~ 7	歯周基本検査 (20歯以上)	200 × 1
	7 ~ 7	歯科疾患管理	100 × 1
		機械的歯面清掃処置 担当者名: 鈴木 日向美 (PMTCジェル)	72 × 1
		歯科衛生実地指導 衛生士名: 鈴木 日向	80 × 1
(P1)	7 ~ 4	SRP 小臼歯 (J)	64 × 2
		SRP 大臼歯 (J)	72 × 2
		次回予定:	

部分的に歯周基本治療処置を行う場合は、検査と別のブロックに入力します

20. スケーリングの算定があり、過去に歯周検査の算定がありません。歯周検査の入力を忘れているか、以前にスケーリングを行った部位を重複して選択していませんか？

スケーリングを行った歯に、歯周検査の算定がありません。検査時の部位をご確認ください。前回の検査時には存在していない部位(智歯や後続永久歯など)を部位に含めている場合は問題ありません。

- (1) 歯周検査の入力を忘れていますか？
- (2) 以前にスケーリングを行った部位を重複して選択していませんか？
スケーリングの部位が間違っていないか、ご確認ください。
- (3) 歯周検査の部位とスケーリングの部位が異なっていませんか？
P 病名に含めない歯は視診で「歯周部位から除く」に登録してください。
- (4) 前回の検査時には存在しておらず、歯周基本治療処置から萌出し、部位に含めた場合は、修正不要としてください。

21. スケーリングの終了から 1 週間以内に歯周検査があります。歯周検査は一定期間をあけて行うことをお勧めします。

- (1) スケーリング終了後、短い期間で歯周検査を行って返戻になったケースがあったため、エラーをかけています。問題ない場合は修正不要としてください。
- (2) 歯周検査と同じブロックに、検査より上にスケーリングが入力されている場合にもかかります。
スケーリングは歯周検査の下に来るように、順番を変更してください。
Shift キーを押しながら処置をドラッグすると移動できます。
※カルテは行った順番に記載することとされています。

22. スケーリングがなく、2回以上の歯周組織検査が行われました。スケーリングの入力をお忘れではありませんか？

このエラーは、スケーリングの算定が全くない場合にかかります。
スケーリングの入力を忘れているか、確認してください。

23. 全ブロックのスケーリングが終了しないのに、歯周組織検査が行われました。入力もれの部位はありませんか？前回の検査時には存在していない部位(智歯や後続永久歯など)を部位に含めている場合は問題ありません。

SC の入力もれ、または 2 回目の検査時に SC 時よりも歯数が増えていた場合にかかるエラーです。
前回の SC で、歯数に応じた全ブロックの SC が終了しており、萌出していなかった歯(永久歯や智歯など)を、2 回目の検査のタイミングで部位に含めた場合は「修正不要」としていただいて問題ありません。

24. スケーリングと SRP の間に、歯周検査がありません。ご確認ください。

歯周検査の入力を忘れていますか？
歯周検査の入力がなく SRP が入力されています。

25. 歯周検査がなく、SRP の治療があります。他社からの入れ替えで、再診を算定すべきところを初診を算定していませんか？

2回目の歯周検査がなく、SRP の治療があります。検査の入力を忘れていませんか？他社からの入れ替えの場合、再診を算定すべきところを初診を算定していませんか？

他社からの入れ替えで、入力ミスが原因でかかるエラーです。

- (1) 再診なのに初診を算定して治療の続きを算定している場合
- (2) 2 回目の歯周検査の入力が漏れてしまっている場合 (SC の処置から時間が空いているなど)

26. SRP の 1 回目を 3 回目の歯周検査以降に行いました。SRP が全顎終了する前に間違って検査を算定していないか、入力部位をご確認ください。

SRP が全顎終了する前に検査を算定していないか、入力部位をご確認ください。

前回の検査から時間が経過しているため、再度の検査を行ったというような場合は先生のご判断となります。

27. SRP の終了から 2 週間以内に歯周検査があります。歯周検査は一定期間をあけて行うことをお勧めします。

SRP 終了後、短い期間で歯周検査を行って返戻になったケースがあったため、エラーをかけています。問題ない場合は修正不要としてください。

28. SRP(100/100)と SRP(50/100)が歯周検査を挟まずに混在しています。以前に SRP を行った部位を重複して選択していませんか？SRP の入力部位が間違っていないか、ご確認ください。

以前に SRP を行った部位を重複して選択していませんか？

「SRP(50/100)」の入力されている部位が以前に SRP が行われている部位です。

SRP の部位が間違っていないか、ご確認ください。

29. SPT1 回目を算定していますが、SRP 終了後に評価の P 検査がありません。

歯周検査の入力をお忘れではありませんか？

歯周検査の入力がなく SPT を開始しているようです。

ご確認ください。

30. SPT1 回目を算定していますが、過去に SRP がありません。

リプレース時に、前のレセコンで P 重防を算定している患者さんに、間違えて SPT を算定するとかかることが多いエラーです。処置内容のご確認をお願いします。

31. 以前 SPT を算定してから、6 ヶ月以内に初診を算定しました。再診のお間違いではないでしょうか？

リプレイス時に以前のレセコンで SPT を算定している患者様に対して、6月以内の短い期間で初診を算定した場合にかかるエラーです。

前回の SPT 算定日の日付を見て、初診が算定可能かご確認ください。

32. 以前に SPT の算定がなく、P 重防(治療期間の短縮)を算定しました。ご確認ください。

P 重防は正しくエラーチェックをかけるために、1 か月で算定できるマスタと 3 か月に 1 回のマスタに処置を分けて作っています。

点数が同じでも以前に SPT がカルテに入力されていない場合、「(治療期間の短縮)」と記載されている P 重防を入力するとこのエラーが表示されます。

レセプト上はどちらも同じ P 重防なので問題ありませんが、不要なエラーがでてしまうため、同じ点数でも状況に応じたマスタを入力していただくよう、お願いいたします。

「(治療期間の短縮)」とある P 重防は、口管強の届を出している医療機関で、SPT を行っていた患者が症状の改善により P 重防に移行する時に、期間の短縮が必要であり月に 1 回算定する場合に入力します。

33. 前回の P 重防または SPT の算定の翌月の初日から2月が経過せずに P 重防を算定しています。算定期間をご確認ください。※口管強の届け出があり、毎月算定できる要件を満たしている場合は問題ありません。

前回の P 重防算定から3月以内に P 重防を算定しています。

口管強の届出を行っておらず算定できない場合は修正をお願い致します。

34. スケーリング後に歯周検査の入力がなく、歯周病重症化予防治療が入力されています。ご確認ください。

P 重防に移行するには、歯周検査を行い歯周ポケットの深さの確認が必要です。

35. 歯周安定期/歯周病重症化予防治療中に、歯周基本治療等の処置があります。ご確認ください。

SPT の管理中に機械的歯面清掃処置などを算定しているとかがかります。

算定できないときは処置入力時に「0 点にしますか？」というチェックがかかりますので、0点に変更してください。

36. 機械的歯面清掃処置を行い、1 初診内に歯科疾患管理、歯科疾患在宅療養管理又は特疾管、居宅療養管理指導費の算定がありません。ご確認ください。

機械的歯面清掃処置より以前に歯科疾患管理・歯科疾患在宅療養管理又特疾管（歯清を行うにあたる管理計画がある場合）・居宅療養管理指導費の算定がありません。ご確認ください。

!	機械的歯面清掃処置を行い、1初診内に歯科疾患管理、歯科疾患在宅療養管理又は特疾管、居宅療養管理指導費の算定がありません。ご確認ください。
!	機械的歯面清掃処置より以前に歯科疾患管理・歯科疾患在宅療養管理又特疾管（歯清を行うにあたる管理計画がある場合）・居宅療養管理指導費の算定がありません。ご確認ください。

機械的歯面清掃処置は各指導管理料が算定要件となっています。
処置よりも前に指導管理料の算定が必要ではないかと思われます。

37. 機械的歯面清掃処置を行い、同月に歯科疾患管理、歯科疾患在宅療養管理又は特疾管、居宅療養管理指導費の算定がありません。よろしいですか？

機械的歯面清掃処置は各指導管理料が算定要件となっていますが、指導管理料は同一初診内で過去に算定していれば、当月に算定していなくても機械的歯面清掃処置の算定は可能です。
今月算定がないようですが、算定しなくても良いですか？という取り漏れのエラーです。

歯牙治療関連

38. XXX に、“面”のコメントがありません。ご確認ください。

「インレー修復形成」「窩洞形成(KP)」「う蝕歯即時充填形成」など窩洞形成の入力時に、窩洞面を指定していないために出るエラーです。

形成時に窩洞面を指定することにより、装着時に「複雑」「単純」の点数を自動で入力するようになっていたため、以下の画面は**飛ばさないよう**にお願いいたします。

2 歯同時に入力している場合は、同じ面であっても 2 回指定が必要です。

面のコメント入力

＋ 項目末尾 上へ 下へ 追加 削除 設定

対象処置:	部位	項目
	6	窩洞形成 (K P) 【複雑】(CAD/CAM) <面>

入力内容:

☐ 単純とする ☐ 単純とする ☐ 単純とする

39. ○○が根管数と一致していません。

抜髄や感染根管処置など、以前に算定された根管数と異なる根管数の処置が入力されている場合にかかるエラーです。

- (1) 何かの理由で、異なる根管数の処置を「強制入力」した
- (2) リプレース時に前のレセコンに入力されされていた根管数と異なる根管数の処置を入力した

間違って算定していないかの確認ですので、意図して入力している場合は修正不要として問題ありません。

40. ○○があり以前に XX がありません。ご確認ください。

- ❗ インレー（複雑）をセットして、修形またはKP（複雑）がありません。
- ❗ チタン冠をセットして、生P Z 金属冠（チタン冠）または失P Z 金属冠（チタン冠）がありません。
- ❗ 口腔内装置をセットして、口腔内装置impがありませんがよろしいですか？
- ❗ BTがあり以前に義歯印象がありません。ご確認ください。

入力し忘れ、または以前のレセコンで印象を算定し、BTや試適、装着の入力をした場合にかかるエラーです。

別のレセコンから入れ替えた最初の月に表示された場合、先月以前に該当項目を請求していれば問題ありませんので、修正不要にしてください。

41. 直接歯髄保護処置を行ってから、1ヶ月以内に歯冠修復物等が行われています。

以下のように定められているため、直接歯髄保護処置を行ってから1か月以上経過せずに形成を行った場合は、直接歯髄保護処置の算定は認められません。

I001 歯髄保護処置（6）

直接歯髄保護処置を行った場合は、当該処置を行った最初の日から起算して1月以上の経過観察を行った後に歯冠修復等を実施する。なお、当該処置を行った場合は、処置内容及び経過観察期間等に係る事項について患者に対して説明するとともに、その要点について診療録に記載する。

42. 感染根管処置を行いました、以前に抜髄後の根充がありませんがよろしいですか？

貼薬や根充と間違えて感染根管処置を入力していませんか？
ご確認ください。

43. 貼薬または根充があり、抜髄(感染根管)がありません。

部位や選択する処置を間違えていませんか？

- (1) 抜髄または感根処を入力し忘れた、あるいは間違えて貼薬を入力してしまった
- (2) 部位を間違えて入力した
- (3) 以前のレセコンで抜髄または感染根管処置を算定し、貼薬や根充の入力をしている
別のレセコンから入れ替えた最初の月に表示された場合、先月以前に抜髄、または感染根管処置を請求していれば問題ありませんので、修正不要にしてください。

44. 根管治療がなく、Pul・Per の病名があります。ご確認ください。

Pul、またはPer 病名のブロックに抜髄・貼薬・根充の入力がありません。

病名間違い、処置の入力し忘れがないか、ご確認ください。

以前のレセコンで根充まで算定を行っており、形成(失PZ)からの入力になっている場合は修正不要としてください。

45. 加圧根充を行って、根充(または抜髄即充・感根即充)がありません。

加圧根管充填処置は、根管充填(根充)にあわせて一緒に行う処置であり、加圧根充だけの算定はできません。必ず根充と同時となります。

46. 加圧根充を行って、確認用の X 線がありません。

加圧根充を行った場合は、デンタルで緊密な根管充填の確認が必要です。

I008-2 加圧根管充填処置 (2)

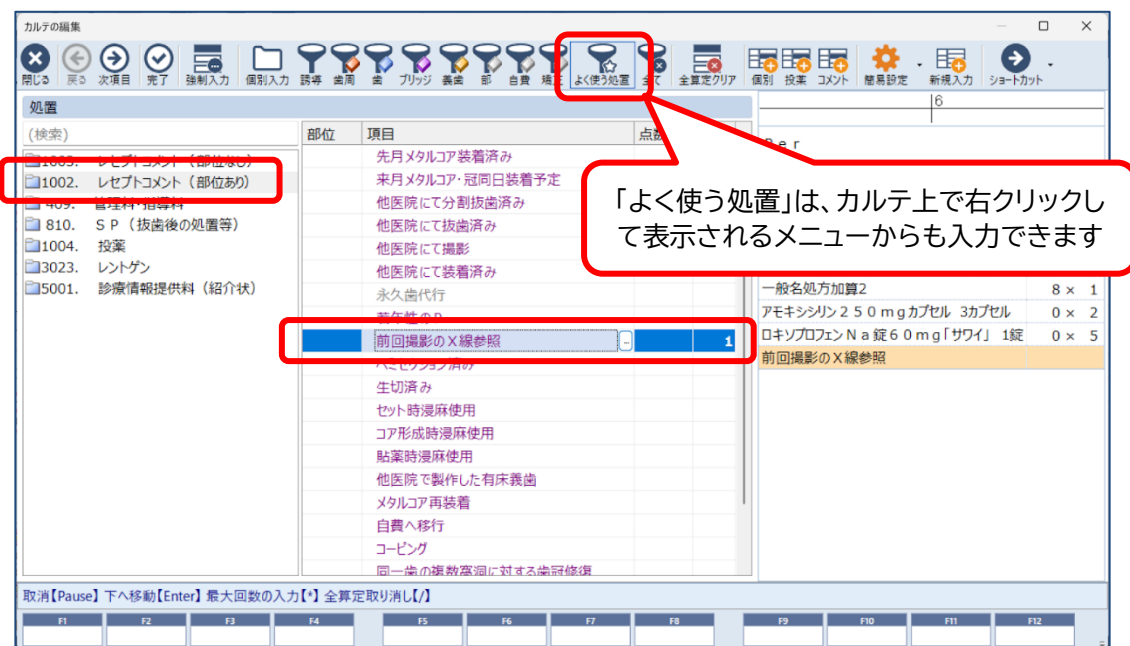
加圧根管充填処置とは、根管拡大及び根管形成が行われた根管に対して、ガッタパーチャポイント等を主体として根管充填材を加圧しながら緊密に根管充填を行うことをいう。なお、根管充填後に歯科エックス線撮影で緊密な根管充填が行われていることを確認する。

47. 1初診内で根管治療後に、修形または充形があります。根治から修形、充形までの期間が短い場合は算定できない場合があります。

根治から修形、充形算定までの期間が一定期間あいている場合は、算定が認められます。期間については先生のご判断でお願い致します。

48. 難抜歯を行う前に、デンタルでの確認を行いましたか？以前に撮影したレントゲンを参照している場合は、摘要コメント「前回撮影の X 線参照」を追加してください。

埋伏抜歯を行う前に、パノラマまたはデンタルでの確認を行いましたか？以前に撮影したレントゲンを参照している場合は、摘要コメント「前回撮影の X 線参照」を追加してください。



デンタル・パノラマの撮影がなく難抜歯加算、埋伏抜歯を算定している場合にエラーをかけています。前回の初診時撮影のレントゲンを参照している場合は、摘要コメント「前回撮影の X 線参照」を追加していただくのがよろしいかと思います。

49. 抜歯 下顎埋伏智歯加算 の算定に必要な病名がありません。”下顎水平埋伏智歯 完全埋伏歯 骨性完全埋伏歯 下顎骨性完全埋伏智歯 水平埋伏智歯 完全水平埋伏智歯”

下顎埋伏智歯加算を行って、病名に「下顎」が必要です。ご確認ください。

「下顎埋伏智歯加算」については記載要領に『病名は「完全埋伏歯」、「水平埋伏智歯」、「CRT」又は「HIT」とする』とあるため、エラーをかけています。ご確認ください。
「下顎」の修飾語がなく返戻になったケースがあったため、「下顎」がない場合にエラーをかけています。

50. 埋伏歯抜歯があり、完全埋伏歯、骨性完全埋伏歯、水平埋伏智歯、下顎水平埋伏智歯、下顎骨性完全埋伏智歯の病名が必要です。ご確認ください。

「完全埋伏歯」を意味する病名がつけられていない場合に返戻されたことがあるため、エラーをかけています。

51. 即充を行って、EMR を行っていません。ご確認ください。

根充を行って、EMR を行っていません。ご確認ください。

根充中に EMR の入力がありません。ご確認ください。

52. 根管貼薬処置 3 根(RCT)(RX.XX.XX) ”根管貼薬処置 3 根(RCT)(RX.XX.XX) ” ”EMR 3 根(RX.XX.XX)” が根管数と一致していません。

- (1) 抜髄は4根で算定し、EMR や貼薬は3根で入力されているなど、以前に入力された歯内療法の根管数とその後に入力されている歯内療法の根管数が異なっています。
意図して変更している場合は修正不要としていただいて問題ありません。
- (2) リブレースの場合で、前のレセコンに入力された根管数とカルテに入力されている根管数が異なっています。

53. 除去(困難)を行って、「～不適合」「～破損」の病名が必要です。ご確認ください。

除去(著しく困難)を行って、「メタルコア不適合」「ポスト不適合」「コア破損」の病名が必要です。ご確認ください。

除去病名がなく返戻になったケースがありましたので、エラーをかけています。
除去病名は不要とご判断される場合は、修正不要にしてください。

54. 内面処理加算を算定して、セメント(レジン系)がありません。ご確認ください。

「内面処理加算1又は内面処理加算2を算定する場合は、接着性レジンセメントを用いて装着する」と定められています。入力されているセメントの種類の確認をお願い致します。

55. セメントがあり、歯冠修復物・TFix・再装着・再装着(0点)・再装着(摘要コメント)がありません。

装着する補綴物や「再装着」「TFix」「TFix修理」「未来院」などのコメントがなく装着用セメントが入力されています。TFix など装着物の点数が算定できない場合はコメントとして必要な場合がありますので、「0点」に変更された装着物は削除しないでください。

56. ブリッジ維持管理料がありますが、歯冠修復物がありません。ご確認ください。

リプレースの場合で、以前のレセコンで形成まで請求し、装着から入力するような場合、以前のレセコンで保険ルール上請求できない補綴物の形成が入力されていると、装着時に補綴物がグレーアウトして入力できない状態になっています。

請求する場合は強制入力で該当の補綴物を算定してください。

57. Br 装着料があり、ポンティックの算定がありません(口蓋根、遠心根抜歯を除く)。ご確認ください。

ブリッジの形成を行った部位とブリッジを装着している部位が異なっていませんか？
ご確認をお願いいたします。

58. コア imp または形成を行って、根充が行われていません。

根充の入力を忘れていませんか？
ご確認をお願いいたします。

59. OOは手動で入力しています。

グレーになって入力できない状態で「強制入力」を行うとかかるエラーです。
「無理やり入力している状態ですが問題ありませんか？」というお知らせですので、問題ない場合は修正不要としてください。

義歯関連

60. 有床義歯と義歯印象があり、試適がありません。

確認のためにエラーを表示しています。
試適を行っていない場合は修正不要としてください。

61. 歯科口腔リハビリテーション1を行って、義歯不適合の病名がありません。

病名のご確認をお願いいたします。
神奈川県は「義歯不適合」病名がないと返戻になっていたためエラーを表示しています。

62. 即時義歯があります。残根登録をしていないことにより即時義歯となっていないか、ご確認ください。

残根登録をしていないことにより即時義歯のコメントができ用に記載されてしまうケースが見受けられるため、確認のためにエラーをかけています。
即時義歯の場合は問題ありませんので修正不要としてください。

63. 義管(困難な場合)または歯リハ1(困難な場合)が算定できるのではないのでしょうか？ご確認ください。

咬合状態から「困難な場合」が算定可能な場合に表示しています。

64. 有床義歯を作成してから、6ヶ月以内に裏装 imp が行われました。床裏装が 50/100 の予定です。(有床義歯算定日 Rxx.xx.xx)

新義歯を装着して6か月以内に裏装を行う場合、修理・裏装の点数が50/100になります、というお知らせです。

65. 単純imp(簡単)の処置は、MT(リソウ) 義歯増歯 義歯破損 義歯咬合面低位 義歯不適合 義歯床不適 義歯ハセツ MT床適合 の病名と一緒に算定できません。

「単純 imp(簡単)」は義歯新製時の印象です。
同部位の旧義歯に対して修理病名の「義歯破損」等をつけて修理を算定し、別に新義歯作成で MT 病名の部位に「単純 imp(簡単)」を入力している場合は問題ありません。「修正不要」としてください。

66. ○○に部位がありません。

部位記載(歯式入力)が必要な病名に対して部位入力がない(部位なし状態になっている)場合に表示されます。
部位の入力をお願いします。

X 線(レントゲン)関連

67. X 線(単デジ)があり、同日にパノラマ(電)、全顎(電)、歯 CT 等がありません。ご確認ください。

電子画像管理加算がないレントゲンだけが算定されている状態です。

電子画像管理加算はレントゲンの種類などにかかわらず、1 日 1 回の算定できます。

電子画像管理加算が一番高い点数のレントゲンを削除し、(単デジ)ではないレントゲンを入力しなおしてください。

※レントゲンを 2 種類以上算定していて両方に電子画像管理加算が含まれており、片方を単デジにする必要がある場合は入力時に「単デジに変更しますか？」と聞いてきますので変更してください。

68. X 線(症状確認)を撮影して、以前にパノラマまたは X 線(診査時)を撮影していません。X 線(診査時)用の点数ではないですか？

その歯に対して過去にパノラマ、またはレントゲン撮影がなく、根充などの確認時に初めてレントゲン撮影が入力されましたが、確認用のレントゲンの点数(低い点数)が算定されています。

診査用(初めての撮影の点数)に変更する場合は削除して入力しなおをお願いします。

診査用の点数に変更するか否かは先生のご判断でお願いいたします。

69. 歯科用 3 次元エックス線断層撮影を行い、以前にパノラマまたはデンタルがありません。ご確認ください。

歯科用 3 次元エックス線断層撮影(CT)は、パノラマ、デンタルで確認ができない場合に撮影が認められています。

最初から CT で請求を行うと返戻対象となる可能性が高いため、ご確認をお願いいたします。

麻酔関連

70. OA(同一顎)+OO注歯科用 Ct 1.8ml×本数に、“麻酔薬剤使用本数”のコメントがありません。ご確認ください。

1 回の手術で使用した麻酔薬は、点数を合計し「総点数×1」で算定する決まりになっているため、麻酔薬のカートリッジを複数本使用した場合は後ろに「×本数」とあるものを入力します。

項目	点数	回数
浸麻	0	
浸麻	30	
OA(同一顎)+エピリド配合注歯科用Ct 1.8ml	9	
OA(同一顎)+エピリド配合注歯科用Ct 1.8ml×本数	0	
OA(上下顎)+エピリド配合注歯科用Ct 1.8ml×本数	0	
OA(同一顎)+オ-う注歯科用Ct 1.8ml	11	
OA(同一顎)+オ-う注歯科用Ct 1.8ml×本数	0	
OA(上下顎)+オ-う注歯科用Ct 1.8ml×本数	0	
OA(同一顎)+スヤント®ネストCt 3% 1.8ml	19	
OA(同一顎)+スヤント®ネストCt 3% 1.8ml×本数	0	
OA(上下顎)+スヤント®ネストCt 3% 1.8ml×本数	0	

この場合は必ず「使用した本数」を入力してください

麻酔薬剤使用本数のコメント入力

対象処置: 部位 項目

7 OA+エピリド配合注歯科用Ct 1.8ml× 2 Ct (3.6ml)

入力内容: 2

使用したカートリッジの本数を必ず入力してください。

本数を入力することにより、正しい合計点数が計算されます。

C3急性Per	7	浸麻	0 × 1
		OA+エピリド配合注歯科用Ct 1.8ml×2Ct (3.6ml)	16 × 1
		抜歯 白歯	2 × 1

総使用量の合計点数×1の記載になります

71. OA+薬剤が複数算定されています。ご確認ください。

OA の算定回数をご確認ください。OA(同一顎)又は OA(上下顎)

同一術野で手術に使用する薬剤は、容量を全て合計して「×1」で算定する決まりになっています。
「OA+麻酔薬」は、以下のように入力してください。

部位	項目	点数	回数
	CT		
	笑気		
	浸麻		
	浸麻		2
	OA(同一顎)+エピド配合注歯科用Ct 1.8ml		
	OA(同一顎)+エピド配合注歯科用Ct 1.8ml×本数	0	
	OA(上下顎)+エピド配合注歯科用Ct 1.8ml×本数	0	1
	OA(同一顎)+オラ注歯科用Ct 1.8ml	11	
	OA(同一顎)+オラ注歯科用Ct 1.8ml×本数	0	
	OA(上下顎)+オラ注歯科用Ct 1.8ml×本数	0	
	OA(同一顎)+スチン®ネストCt 3% 1.8ml	19	
	OA(同一顎)+スチン®ネストCt 3% 1.8ml×本数	0	
	OA(上下顎)+スチン®ネストCt 3% 1.8ml×本数	0	

「本数」と記載があるものは回数に常に「1」を入力します

8 | 8 などの同一顎の場合は、(同一顎)と記載されたものを選択します

※上図のように上下顎で別々の手術になる場合は、OAが「×2」でも問題ないと思われます。
その場合は修正は不要です。

麻酔薬剤使用本数のコメント入力

部位入力[F6] 項目末尾 上へ 下へ 追加 削除 設定

対象処置:	部位	項目
	8 8	OA+エピド配合注歯科用Ct 1.8ml× <麻酔薬剤使用本数> C

入力内容: 2

使用したカートリッジの本数を必ず入力してください。

浸麻	0 × 2
OA+エピド配合注歯科用Ct 1.8ml×2Ct (3.6ml)	18 × 1
抜歯 臼歯	270 × 2

総使用量の合計点数×1の記載になります

72. 処置又は手術を行い、麻酔薬剤の算定がありません。よろしいですか。

以下のような場合にエラーがかかります。

- ① 浸麻または伝麻の算定があり OA+麻酔薬剤の算定がない
- ② 麻酔薬剤が算定可能な処置や手術時に OA+麻酔薬剤の算定がない
- ③ 同日に複数の手術を部位ごとに分けて入力しているが、OA+麻酔薬剤は最初のブロックにまとめて入力されている

①、②の場合で OA+麻酔薬剤を追加入力する場合は、浸麻または伝麻を一度削除し、OA+麻酔薬剤と一緒に入力しなおしてください。
同時に入力することにより、算定できない場合は 0 点になり、麻酔薬のみ算定できる場合は浸麻が 0 点に変更されます。

③の場合、以下のような入力で、浸麻、伝麻の数と OA+麻酔薬の数が合っている場合は、修正は不要です。

例)

1. 隣り合った 2 歯を別々の病名で手術(抜歯など)を行うが、浸麻と OA+麻酔薬剤は片方にだけ「同一顎」で入力されている

7	浸麻	0 × 1
C3急化 Per	OA(同一顎)+エピド配合注歯科用Ct 1.8ml (1.8ml)	9 × 1
	抜歯 臼歯	270 × 1
8	抜歯 臼歯	270 × 1
Perico		

2. 同一顎の離れた部位で、それぞれに浸麻または伝麻は×1で入っているが、OA+麻酔薬剤は片方にだけ「同一顎」で入力されている

7	浸麻	0 × 1
C3急化 Per	OA+エピド配合注歯科用Ct 1.8ml×2Ct (3.6ml)	16 × 1
	抜歯 臼歯	270 × 1
8	浸麻	0 × 1
Perico	抜歯 臼歯	

「同一顎」で「本数」とあるものを使用し、2歯の抜歯に用いた麻酔薬の使用した本数を入力します。

浸麻	30	1
浸麻	30	1
OA(同一顎)+エピド配合注歯科用Ct 1.8ml	9	
OA(同一顎)+エピド配合注歯科用Ct 1.8ml×本数	0	1
OA(上下顎)+エピド配合注歯科用Ct 1.8ml×本数	0	

3. 上下の部位で、それぞれに浸麻または伝麻は×1で入っているが、OA+麻酔薬剤は片方にだけ「上下顎」で入力されている

7	浸麻	0 × 1
C3急化Per	OA+エビドリ配合注歯科用Ct 1.8ml×2Ct (3.6ml)	18 × 1
	抜歯 臼歯	270 × 1
8	浸麻	0 × 1
Perico	抜歯 臼歯	

「上下顎」で「本数」とあるものを使用し、2歯の抜歯に用いた麻酔薬の使用した本数を入力します。

7	浸麻	30	1
	浸麻	30	1
	OA(同一顎)+エビドリ配合注歯科用Ct 1.8ml	9	
	OA(同一顎)+エビドリ配合注歯科用Ct 1.8ml×本数	0	
7	OA(上下顎)+エビドリ配合注歯科用Ct 1.8ml×本数	0	1

上下の部位の場合は、それぞれの部位に浸麻または伝麻と「同一顎」のOA+麻酔薬剤を入力する方法もあります。

7	浸麻	0 × 1
C3急化Per	OA(同一顎)+エビドリ配合注歯科用Ct 1.8ml (1.8ml)	9 × 1
	抜歯 臼歯	270 × 1
8	浸麻	0 × 1
Perico	OA(同一顎)+エビドリ配合注歯科用Ct 1.8ml (1.8ml)	9 × 1
	抜歯 臼歯	270 × 1

73. OAがあり、伝麻または浸麻がありません。

浸麻または伝麻があり、OAがありません。

OAと浸麻、または伝麻は、点数が取れる・取れないにかかわらず、2つセットで入力してください。カルテコンピューターであるため、点数が取れない場合でも行った処置を記載するためです。同時に入力することにより、算定できない場合は0点に変更されます。浸麻だけ、OAだけの入力になってしまった場合は、浸麻、またはOAを削除し、2つセットで入力しておしてください。

処置	部位	項目	点数	回数
(検索)		EPT		
11. 抜髄		浸麻	30	1
19. 粘薬		OA(同一顎)+エビドリ配合注歯科用Ct	9	1
20. 根充		OA(同一顎)+エビドリ配合注歯科用Ct	0	
21. 根充+形成		OA(上下顎)+エビドリ配合注歯科用Ct	0	
25. コアimp		OA(同一顎)+エビドリ配合注歯科用Ct 1.8ml		
26. 支台築造				
28. 失PZimpBT				

浸麻と麻酔薬剤は同時に入力します

投薬関連

74. 外科処置を行って、投薬が処方されていません。患者さんが他の医院でもらった薬を持っていた場合は【レセプトコメント(部位なし)】にある【所持薬あり】【他院にて投薬あり】等の摘要記載を入力していただくとエラーはかからなくなります。

- (1) 抜歯などの処置を行って投薬がなく以前に返戻になったことがあるため、エラーをかけています。
患者さんが他の医院でもらった薬を持っていた場合は
【よく使う処置】>【レセプトコメント(部位なし)】
にある
【所持薬あり】【他院にて投薬あり】
等の摘要記載を入力していただくとエラーはかからなくなります。
- (2) 薬剤の入力がありますが、処方料、処方箋料が入力されていません。
カルテチェックをかけると処方箋、処方料を選択する画面が開きますので、該当するものを選択して入力します。

75. 投薬を行って、処方料または処方箋がありません。

薬剤の入力がありますが、処方料または処方箋がありません。
カルテチェックをかけて表示されたダイアログから処方料、または処方箋料を入力してください。
調剤料は薬剤に合わせて自動算定されます。

76. 内・屯服薬を処方して、調剤料(内・屯)がありません。

外用薬を処方して、調剤料(外)がありません。

薬剤の入力がありますが調剤料の入力がありません。
カルテ上で該当の日をクリックしてからカルテチェックをかけると、挿入されます。

77. 調剤料(内服・屯服)を算定して、投薬がありません。

調剤料(外用)を算定して、投薬がありません。

薬剤を削除した場合、調剤料も削除してください。
調剤料は薬剤を削除しても連動して削除されるようになっていません。
薬剤を削除し該当の調剤料が不要になる場合は、薬剤と同時に削除をお願いいたします。

指導管理料関連

78. 歯科疾患管理があり、初診があります。ご確認ください。

初診が算定されていますが、初診月ではなく再診月の点数の歯科疾患管理が入力されています。ご確認ください。

79. 歯科疾患管理があり、長期管理加算の算定がありません。ご確認ください。 (初診日:RX.XX.XX)

半年以上継続して来院されている患者さんで、歯科疾患管理の「長期管理加算」の算定要件を満たしているが、算定がない場合にかかります。算定についてご確認ください。

※長期管理加算については、該当の患者さんは自動算定されるようになっています。

80. 歯科疾患管理を行って『P 病名』『G 病名』があり、歯周検査が行われていません。ご確認ください。

留意事項に以下の文章があるため、エラーをかけています。
「急性症状」のご判断は先生にお任せします。

(4) 歯周病に罹患している患者の管理を行う場合は、歯周病検査の結果を踏まえた治療方針等を含んだ管理計画を作成する。ただし、初診時に歯周病の急性症状を呈する患者であって、歯周病検査の実施が困難である場合は、急性症状寛解後の歯科疾患管理料算定時までに実施する。なお、急性症状が寛解せず歯周病検査が実施できない場合は、症状の要点を診療録に記載する。

81. 歯科衛生実地指導を行った時間が 15 分未満です。15 分以上ではないですか？

歯科衛生実地指導を行った時間が 61 分以上で入力されました。よろしいですか？

歯科衛生実地指導を行った正しい時間が入力されていません。

レセプトには関係ありませんが、実施時間の入力がおかしい場合に表示されるエラーです。

- ①時間の入力がされていない(未入力)
- ②最初と最後の時間が同じなど、実施時間が 15 分未満になっている
- ③実施時間が長すぎるなどの場合

実地指導の時間は何も入力せずに進むと今の時間を終了時間として遡って 15 分前が開始時間として入力される確認画面、または実施時間の分数(何分間)を入力する画面が出ますので、そこで分数を入れれば今の時間から遡って指定した開始時間が入力されるようになっています。どちらの画面が表示されるかは、設定によります。

82. 初診月で歯周検査より以前に歯科疾患管理があります。ご確認ください。

歯科疾患管理は、一口腔単位で歯牙、歯周の歯科疾患を管理する点数です。
間違っって算定していないかの確認ですので、歯周検査より前に Stom や C、Pul などの病名があり、
管理を開始している場合は修正不要にして頂いて問題ありません。

83. 初診月で歯科疾患管理があり、脱離病名のみです。ご確認ください。

歯科疾患管理があり、欠損病名のみです。ご確認ください。

歯科疾患管理料は、継続的管理を必要とする歯科疾患を有する患者（有床義歯に係る治療のみを行う患者を除く。）に対して、口腔を一単位（以下「1口腔単位」という。）としてとらえ、患者との協働により行う口腔管理に加えて、病状が改善した歯科疾患等の再発防止及び重症化予防を評価したものであるため、脱離再装着のみ、義歯に対する病名のみでは、歯管の算定は認められていません。

84. 初診より6月が経過していないので、長期管理加算は算定できません。

リプレースの場合で、初診を算定すべき患者に再診料を入力していませんか？ご確認ください。

85. C 管理中の病名があります。う蝕多発傾向者の判定基準をご確認ください。

年齢と C 病名の歯数が「う蝕多発傾向者の判定基準」に合っていない。基準をご確認ください。

年 齢	歯冠修復終了歯	
	乳 歯	永久歯
0～4歳	1歯以上	—
5～7歳	2歯以上	又は 2歯以上
8～11歳	2歯以上	又は 2歯以上
12～15歳	—	2歯以上

86. 周術期等口腔機能管理料(周管)があり、周術期口腔機能管理計画策定料(周計)の算定がありません。依頼元の病院歯科か、依頼を受けた医療機関のいずれかで周計がないと周管は算定できません。ご確認ください。

周術期口腔機能管理計画策定料(周計)の作成がない場合、周術期等口腔機能管理料(周管)の算定は認められていません。

周計を依頼元の病院で算定している場合は周管の算定ができますので、修正不要です。

脳卒中等による緊急手術を実施した患者に対して術後早期に口腔機能管理の依頼を受けた場合、術後であっても周計の算定は可能です。

周計の算定についてご確認をお願いいたします。

87. ○○が行える時期です。

1 か月の算定回数に制限がある指導管理料などが算定可能となりました、というお知らせです。

- ・歯科疾患管理が行える時期です。
- ・機械的歯面清掃が行える時期です。
- ・歯科衛生実地が行えるようです。
- ・歯科疾患在宅療養管理が行える時期です。
- ・フッ化物歯面塗布処置の前回算定日から2月が経過したので行える時期です。
- ・有床義歯を装着して1月を経過したので、歯科口腔リハビリテーション1が行える時期です。
- ・歯科口腔リハビリテーション1が行える時期です。

基本診療料関連

88. 基本診療料と保険外が同日にあります。ご確認ください。

保険診療と自費診療が同日に入力されている場合のエラーです。
一般的に保険と自費を同日に行うと「混合診療」とみなされるためエラーをだしています。
入力にお間違いないかご確認をお願いいたします。

89. 医療情報取得加算(初診)が算定可能です。ご確認ください。

医療情報取得加算(再診)が算定可能です。ご確認ください。

算定可能な項目が入力されていません、というお知らせです。

90. 明細書発行体制加算の算定がありません。ご確認ください。

算定可能な項目が入力されていません、というお知らせです。

91. 歯外ベア(I)の算定が可能です。

歯科外来・在宅ベースアップ評価料が入力されていません、というお知らせです。

92. 前回の1初診内に歯科疾患管理があり、最終来院日から2ヶ月以内に初診の算定があります。初診を算定した理由の記載が必要です。

- ①歯管を算定していますので、前回の診療から2か月経過しないと初診は算定できません。
再診に変更してください。
- ②他社からの入れ替え時に、再診を取るべきところで初診を算定していませんか？
前回の診療日との期間のご確認をお願いいたします。

93. 前回の最終来院日から1ヶ月以内に、初診または検診の算定があります。よろしいですか？

初診ではなく再診のお間違いではないでしょうか？
ご確認をお願いします。

94. 未来院に、“年月”のコメントがありません。ご確認ください。

未来院請求で、装着予定日または試適予定日がありません。

基本診療料に「未来院」が入力されており、請求すべき補綴物や、予定日の日付などの入力がないので、入力をお願いします。

- (2) 他メーカーからの入れ替えの場合で、以前のレセコンで抜歯の処置を入力し、現在欠損状態となっている部位に対して、同じ抜歯病名をつけた場合に表示されます。
先月から引き続き同じ病名をつける必要がありますので、修正は不要です。
※抜歯がカルテに入力されていた場合はエラーとはなりません。

- ・部位の状態に対して 病名『C3 急化Per』は適正ではありません
- ・部位の状態に対して 病名『C4』は適正ではありません
- ・部位の状態に対して 病名『Perico』は適正ではありません。
- ・部位の状態に対して 病名『歯の動揺』は適正ではありません。
- ・部位の状態に対して 病名『下顎水平埋伏智歯』は適正ではありません。
- ・部位の状態に対して 病名『Per』は適正ではありません。
- ・部位の状態に対して 病名『歯の破折』は適正ではありません。

その他

97. 診療点数が異なります。(カルテ ××点 レセプト ××点)

カルテの入力に不備がある場合に表示されます。

一度入力したカルテを編集して修正を行ったときにうまく反映されなかったような場合などです。

カルテ上には点数として表示されているが、レセプトでは集計されていない処置の入力があるためにエラーとなっています。

①SCなどの処置の入力部位が重複していたりする場合もこのエラーが表示されますので処置部位を確認してください。

②歯科疾患管理と文書提供加算が別の日に入力されているなど、加算のみ単独で入力されていないか、確認してください。

別々の日に入力されている場合は、同じ日に入力しなおしてください。

どこが違っているかわからない場合の修正の手順

①カルテを開き [レセプト表示] を表示させます。

② [印刷プレビュー] (電算プレビューでも可) と [提出データプレビュー] の点数を比べます。

点数のまとまり方が異なっている箇所がありますが、[印刷プレビュー] にはあって [提出データプレビュー] にはない点数(処置)を探します。

③足りない点数の処置が判明したら、その処置を削除して入力しなおしてください。

だいたいにおいて、入力しなおして解決されることが多いです。

98. 保険診療開始日が見つかりません。初診を算定するか又は、[患者診療オプション]で保険診療開始日の登録を行ってください。

(1) 新患なのに再診料から入力してしまった場合に表示されます。(初診日がないため)

(2) 初診が保険外(自費)で開始され、「自費より移行」の形で再診から保険診療を開始する場合は以下のように初診を0点で入力します。

①診療開始日を登録するため、保険診療上の初診に当たる再診日の「歯科再診」をダブルクリックします。

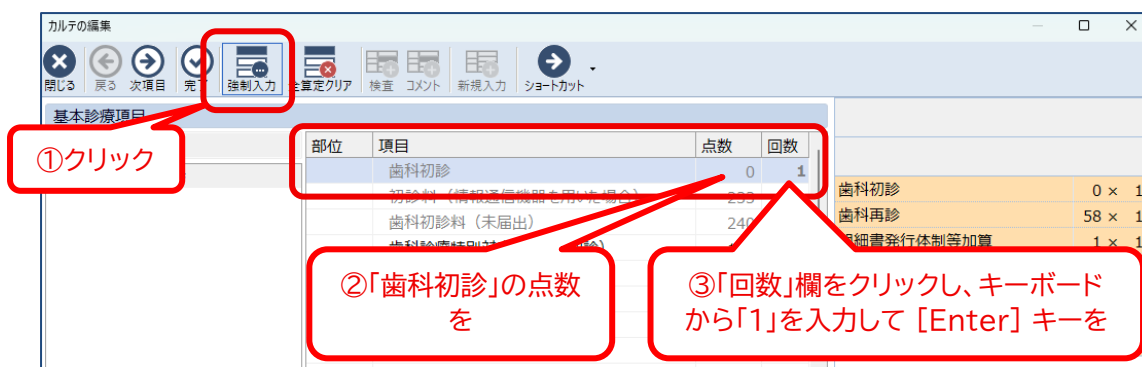
R7.9.12	保険外	0 × 1
	インプラント相談	¥0 × 1
<病名>		
	次回予定:	
	保険 0点 ¥0	
R7.9.20	歯科再診	58 × 1
	明細書発行体制等加算	1 × 1
	歯科外来診療医療安全対策加算1 (再診)	2 × 1
	歯科外来診療感染対策加算1 (再診)	2 × 1
	医療情報取得加算 (再診)	1 × 1
	歯科外来・在宅ベースアップ評価料 (1) (再診時等)	2 × 1

② [強制入力] をクリックします。

「歯科初診」の点数欄をダブルクリックして「0」に書き換えます。

「回数」欄をクリックし、キーボードから「1」を入力して [Enter] キーで確定します。

※プルダウンで文字の入力はできません。



③ [完了] をクリックしてカルテに登録します。

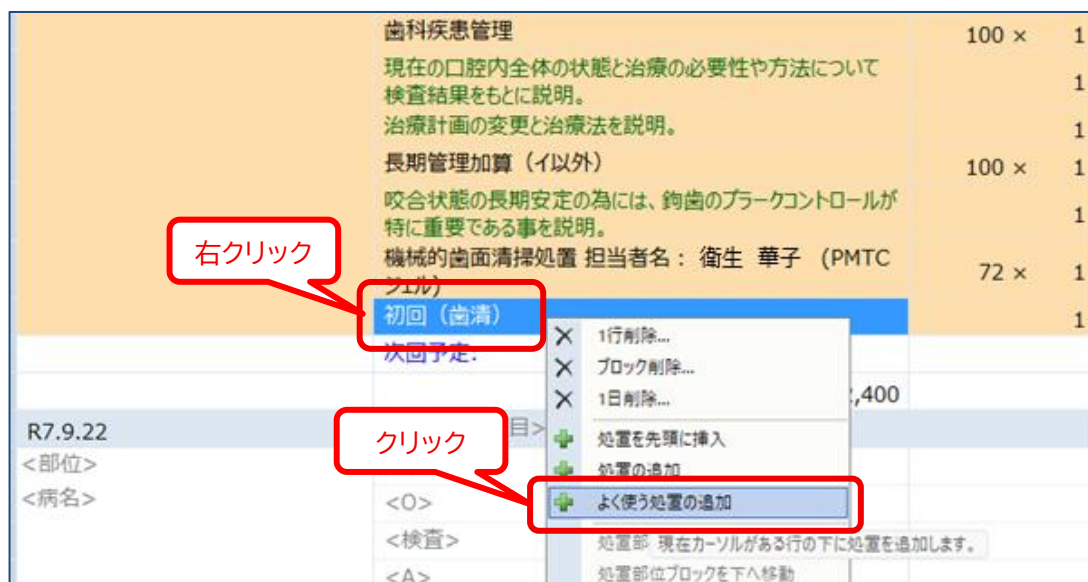
初診が 0 点、再診が点数有りで両方入力された状態になります。

R7.9.12	保険外	0 × 1
1	インプラント相談	¥0 × 1
<病名>	次回予定:	
	保険 0点 ¥0	
R7.9.20	歯科初診	0 × 1
	歯科再診	58 × 1
	明細書発行体制等加算	1 × 1
	歯科外来診療医療安全対策加算1 (再診)	2 × 1
	歯科外来診療感染対策加算1 (再診)	2 × 1
	医療情報取得加算 (再診)	1 × 1
	歯科外来・在宅ベースアップ評価料 (1) (再診時等)	2 × 1

④ 「自費より移行」の摘要コメントを入力します。

「歯科初診」を 0 点で入力した日のブロックで、コメントを追加する任意の場所をクリックします。

「よく使う処置」のボタン、または右クリックで「よく使う処置の追加」をクリックします。



⑤「レセプトコメント(部位なし)」にある「自費より移行」をクリックして選択します。

⑥ [完了] でカルテに登録します。

P1	7 ~ 7	歯周基本検査 (20歯以上)	200 ×	1
	7 ~ 7	スクーリング (J)	72 ×	1
		スクーリング 加算	38 ×	5
		歯科疾患管理	100 ×	1
		現在の口腔内全体の状態と治療の必要性や方法について 検査結果をもとに説明。	0 ×	1
		治療計画の変更と治療法を説明。	0 ×	1
		長期管理加算 (イ以外)	100 ×	1
		咬合状態の長期安定の為に、鉤歯のブラークコントロールが 特に重要である事を説明。	0 ×	1
		機械的歯面清掃処置 担当者名: 衛生 華子 (PMT ジェル)	72 ×	1
		初回 (歯清)	0 ×	1
		自費より移行	0 ×	1

99. 文字データの記録が必要なコメントコードですが、文字データが記録されていません。(830100387)

除去を算定したときの除去物の名称を選択していないなど、摘要記載に必要な項目の選択がない場合にかかります。

オンライン請求時のチェックでエラーになるか、そのまま提出した場合返戻になります。

4 番のように補綴物の名称が表示されているのが正しい状態です。

5 番は除去物の種類が選択されておらず、除去した補綴物の名称がレセプトに表示されていません。

FMC不適合	4	FMC除去	48 ×	1
FMC不適合	5	除去 (困難)	48 ×	1